








☑ 決裁 ○ 供覧

※決裁区分については、決裁権者の欄の()内に☑をつけること。

文書番号	取教委発 第	号
------	--------	---


市長()	副市長(☑)	教育長()	部長()	次長	課長()	課長補佐	係長
							
合 議				起 案	令和3年	6	25
				施行予定	R3	6	25
				決裁(関了)	R3	6	25
				完 結	R3	6	25

あて先 関係職員	発信者名 取手市副市長 吉田雅弘
-------------	---------------------

件 名 取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する 第1回事案検証会議の開催について(通知)

上記のことについて別記のとおり <input type="checkbox"/> 照会 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 実施 してよろしいか伺います。 <input type="checkbox"/> 申請 <input checked="" type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 受理 します。

個別フォルダー名	保存期間	永年	10年	5年	3年	1年
----------	------	----	-----	----	----	----

	起案者	教育委員会 部
		スポーツ振興 課(所)
		スポーツ振興 係(室)
	氏 名	今井正人 

令和3年6月25日

関係職員各位

取手市副市長 吉田雅弘

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する
第1回事案検証会議の開催について（通知）

標記の件につきまして、関係職員による検証会議を下記により開催いたします。
つきましては、業務多忙の折とは思いますが、業務調整のうえご出席いただきますようお願いいたします。

記

- 日時 令和3年7月1日（木） 午前9時30分より
- 会場 議会棟 大会議室
- 内容 ① 事実経過の再確認
② 原因究明方法の検討
③ 体育館床専門機関への調査照会

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する

第1回事案検証会議

- 日 時 令和3年7月1日(木)
午前9時30分より
- 会 場 議会棟 大会議室

次 第

- 開 会
- 副市長あいさつ
- 教育長あいさつ
- 議 事 ① 事実経過の再確認
- ② 原因究明方法の検討
- ③ 体育館床専門機関への調査照会
- その他
- 閉 会

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する
第1回事案検証会議

日時：令和3年7月1日（木）午前9時30分から
会場：議会棟 大会議室

《会議出席予定者》

職名	氏名	備考
副市長	吉田雅弘	
教育長	伊藤哲	
教育部長	田中英樹	
総務部長	鈴木文江	
財政部長	牧野妙子	
公共施設整備課長	原部英樹	
管財課課長補佐	柳博臣	
建築指導課係長	押山晶子	
取手図書館課長	長塚逸人	
文化芸術課主幹	秋田貴雄	
スポーツ振興課長	豊島寿	
スポーツ振興課課長補佐	今井正人	

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する経過報告書

日時	項目	備考
S63.2.26	取手グリーンスポーツセンター着工	
H1.12.15	〃 竣工	
H2.4.24	〃 開館	
〃	旧バスケットボールゴール購入	備品台帳より
H28.7.1	床改修工事実施設計業務委託起工	予算額：2,000,000円 設計額：1,976,400円
H28.8.9	〃 契約	契約額：1,576,800円 請負者：株式会社篠崎建築設計事務所
H29.2.27	〃 完成・成果品納入	設計図書納品
H29.8.7	床改修工事起工（監理業務は行っていない）	予算額：93,000,000円 設計額：92,847,600円
H29.9.14	〃 契約	契約額：91,098,000円 請負者：赤塚工業株式会社
H30.3.15	〃 竣工	竣工図納品
H31.4.3	バスケットボールゴール更新起工	予算額：22,473,000円 設計額：19,947,600円
R1.5.16	〃 契約	契約額：19,872,000円 請負者：池田スポーツ
R1.9.9	〃 納品	第1体育室に納品、組立、 検査（株式会社セノー）
〃	旧バスケットボールゴール搬出	処分

R 2 . 2 .	床のたわみを確認	指定管理者より担当課に連絡あり
R 2 . 2 . 2 0	調査報告書、見積書の提出	床施工メーカー（株式会社染野製作所）による現地確認後、状況報告書及び見積書の提出がある
R 2 . 3 .	予算措置	R2 当初予算に間に合わず、R3 当初予算に計上することとなる
R 2 . 3 . 7 ～ R 2 . 5 . 3 1	施設休館	新型コロナウイルス感染症拡大によるもの
R 2 . 6 .	たわみの拡大を確認	利用再開後、たわみの拡大が確認される
R 2 . 8 . 7	被害状況現地確認	
R 2 . 1 0 . 2 9	補強に関する協議	スポーツ生涯学習課、指定管理者、公共施設整備課、床施工業者（染野製作所）により協議を行い、ゴール移動部分も補強が必要と判断する
R 2 . 1 1 . 5	バスケットボールゴールメーカーより説明	スポーツ生涯学習課、指定管理者、公共施設整備課、財政課ゴールメーカー（セノー株式会社）により協議を行い、ゴールメーカーから補強についての説明を受ける
R 2 . 1 1 . 1 7	今後の対応を協議	スポーツ生涯学習課、公共施設整備課により協議し、たわみについては、ゴールの荷重によるものと判断する

R2.11.30	全協にて説明	床補強工事について
R2.12.11	床補強工事実施設計業務委託起工	予算額：499,000円 設計額：498,300円
R2.12.18	〃 契約	契約額：495,000円 請負者：株式会社篠崎建築設計事務所
R3.3.19	〃 完成	設計図書納品
R3.5.	6月補正に工事費計上	
R3.6.10	全協にて説明	床補強工事について
R3.6.15	議案質疑あり	染谷議員より責任の所在について
R3.6.21	予算審査特別委員会にて質疑あり	遠山委員：補正予算の再提出の要望 根岸委員：事案の検証について
R3.6.24	事案検証スケジュールの提出	議会事務局へ提出し議会に提出
R3.7.1	第1回事案検証会議	
今 後 の 予 定		
R3.7.中旬 ～8月上旬	床改修工事実施設計・工事検証 バスケットボールゴール購入検証	
R3.8 中旬	第2回事案検証会議	
R3.8 下旬	検証結果の議会への報告	

取市発第 180 号
令和3年6月24日

取手市議会議長
齋藤久 代 殿

取手市長 藤井信吾

資料の提出について

令和3年第2回定例会一般会計決算・予算審査特別委員会において要請のあった資料につきまして、下記のとおり提出いたします。

記

○ 取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する事案検証スケジュール

日 時	内 容
令和3年7月1日	第1回 事案検証会議 ①事実経過の再確認 ②原因の究明方法の検討 ③体育館床専門機関への調査照会
令和3年7月中旬 から8月上旬	床改修工事実施設計・工事検証 ①関係職員及び関係業者への聞き取り調査 ②設計及び施工方法の妥当性・課題の調査
	バスケットボールゴール購入検証 ①関係職員及び業者への聞き取り調査 ②備品選定の妥当性・課題の調査
令和3年8月中旬	第2回 事案検証会議（複数回の開催を予定） ①体育館床専門機関への照会結果の確認 ②検証結果確認及び再発防止策の整理
令和3年8月下旬	検証結果の議会への報告

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する 第1回事案検証会議 会議録

日時

令和3年7月1日（木）
午前9時30分～午前10時20分

会場

取手市役所 議会棟 大会議室

出席者

副市長 吉田 雅弘
教育長 伊藤 哲
教育部長 田中 英樹
総務部長 鈴木 文江
財政部長 牧野 妙子
公共施設整備課長 原部 英樹
管財課課長補佐 柳 博臣
取手市図書館課長 長塚 逸人
文化芸術課主幹 秋田 貴雄
スポーツ振興課長 豊島 寿
スポーツ振興課課長補佐 今井 正人

欠席者

建築指導課係長 押山 晶子

開会

〈会議内容〉

グリーンスポーツセンター第1体育室床の損傷について教育委員会所管にて調査、議会報告を行っていたが、先の議会で床の工事、ゴール納入業者への確認が不足しているとの指摘を受けたことから、本日から2ヶ月間を目処に副市長を先頭に原因の究明と再発防止策を検討するもの。

副市長挨拶

教育委員会にて生じた事案ではあるが、検証にあたっては関係各課の協力が要る。教育委員会のみならず市全体に関わる事案と捉え、防止に努める必要がある。

教育長挨拶

副市長はじめ出席の皆様の助言のもと検証を行い再発防止に努めていきたい。

議事

①事実経過の再確認

〈資料①のとおり説明〉

〈質問・確認事項〉

Q.バスケットゴール購入について、既存のゴールと重量の他に構造に大きな違いはあったのか。また、床の設計業者である篠崎建築設計事務所は市内の業者か。体育館床の設計実績などはあるのか。

A.バスケットゴールの構造の詳細については未確認だが、重量以外に目立って大きな違いは無いと認識している。篠崎建築設計事務所は利根町の業者になる。実績等については未確認。

Q.R2年2月にたわみを確認し、当初予算に間に合わずR3当初予算に計上するとしたのは、被害の拡大を予測せずに1年間放置しても大丈夫という判断を行ったうえで、8月被害拡大の連絡からの現地確認の際に、早急に処置が必要だと判明したという流れか。また、R2年2月のたわみ確認後に予算措置を考えるのであれば6月補正にあげるのが適正ではないか。

A.流れについては概ねその通り。ただ、R2年2月時点ではバスケットゴールの保管場所周辺のみ補修を予定しており、床施工メーカーである染野製作所が確認した際には、700万円の見積もりだったが、保管場所周辺の補修のみで大丈夫なのか、という意見や、より詳細に状況を確認してから挙げるべきとの意見をいただいたほか、コロナウイルスによるグリスポの休業もあり、6月補正に挙げるができなかった。その後グリスポより被害の拡大報告があり、詳細な現地確認の後に挙げることとなった。

②原因究明方法の検討

〈提案事項〉

原因究明方法の検討を行うに当たり、7月中旬から8月上旬のスケジュールで実施設計及び工事とゴール購入について関係各課職員及び関係業者において一人一人個別のヒアリングを行い、それぞれの妥当性や課題について、詳細に調査を進めていきたい。

〈質問・確認事項〉

Q.事業者へのヒアリングは必ず行うものなのか。過失を問うようなものか。

A.設計協議書の内容について確認していく中で、職員で確認が取ればよいし、わからない部分があれば、全体の事実確認も併せて業者を呼ぶこともある。必ず呼ぶ、というものではない。

Q.聞き取り対象はこの会議の場にいる職員か。

A.この場以外にも、当時関わっていた職員にヒアリングをする。

Q.対象者はこの会議に呼ぶことになるのか。

A.事象ごとにポイントを絞ったチェックリストを作成し、副市長を中心に少人数で聞き取りを行うので、この会議の中に呼ぶわけではない。

また、事務手続きについての瑕疵を問うものではなく、当時どのような認識で仕事を進めていたか、どういうところで至らなかった点があったのかなどの確認となる。

今後に活かし再発防止のために行うことが重要と考える。

③体育館床専門機関への調査照合

〈説明事項〉

外部調査機関への検証依頼について、公益財団法人の日本スポーツ施設協会と国土交通省関係の研究機関の2機関に打診をしており、返事が届き次第依頼先を決定したい。

〈質問・確認事項〉

Q.具体的な依頼内容はどうなるのか。

A.設計内容が適正なのか等、業者への確認内容とかぶるところがあるので、こちらについても専門家に確認する必要がある項目について依頼をする形になる。

Q.業者や機関によって、問題の捉え方も違ってくるのでは。

A.考え方等については、公共施設整備課と協議をしながら進める。

Q.ヒアリングの流れが職員→業者→研究機関になるようではスケジュール的に厳しいのでは。

A.事象によりポイントを絞り、同時進行により早期の検証を目指す。

決定事項

議事①について

- ・経過については、議会に報告する重要事項となるので、業者選定や、なぜこのような経過になったかをより詳細に再確認し、報告できるようにすること。

議事②について

- ・ヒアリングは当会議参加者に限らず、当時の関係職員を対象に副市長を中心に少人数で行う。
- ・事象ごとにポイントを絞ったチェックリストを用いる。
- ・当時の認識やいたらなかった点の改善など再発防止を主な目的とする。
- ・職員内で確認の取れない事象については業者へのヒアリングも行う。

議事③について

- ・研究機関への依頼内容については、公共施設整備課と協議をしていく。
- ・調査費用等がわかり次第財政へ報告・相談する。

その他

- ・今後のスケジュールについて速やかに周知する。